

箱根・明神ヶ岳縦走

(最乗寺～山頂～宮城野分岐～明神平)



2023/11/15

山行 CL:0

【下見山行】

1. 実施日 2023年9月15日(金) 曇り時々雨
2. 山行地 明神ヶ岳
3. 下見コース 最乗寺～明神ヶ岳(尾根分岐)～宮城野バス停～小田原駅～大雄山駅～最乗寺に戻り、帰路に着く。
4. 交通手段 マイカー(車出しはY) 野木5時30分出発～夜12時野木帰着
5. 参加人数 3名(CL:0、SL:Y、N)
6. 下見の結果:

- ①ルート上における通話可能エリアの確認 ⇒ 一部の樹林帯に不通箇所はあるが、大部分は通話可能、大人数の場合はトランシーバー携行が必要である。
- ②トイレ場所の確認 ⇒ 最乗寺2ヶ所(境内と山門外)、宮城野バス停近く1ヶ所
- ③ルート上の休憩場所の確認 ⇒ 見晴小屋、神明水、明神水手前の草地、山頂他
- ④ストレッチ場所の確認 ⇒ 最乗寺の境内(大きな時計台の前)
- ⑤マイクロバス駐車場所の確認 ⇒ 湯本温泉・観光バス駐車場
バス運転手の仮眠施設(日帰り温泉・和泉)は、休日はバス駐車が出来ない。
- ⑥ルートの確認 ⇒ 最乗寺から山頂までは一本道だが、途中に林道2本交差しており、林道に入り込まぬように注意必要、エスケープルート(尾根直下の分岐(左折)先はトランス道で滑落の危険性が有る。その先の登山道は不明瞭)は経験者が必要である。
- ⑦高速道トイレ休憩場所の確認 ⇒ 圏央道・狭山PA
- ⑧所要時間の確認 ⇒ 当初、5時間を想定したが休憩時間を含め7時間は必要

【本番山行】

1. 実施日 2023年10月29日(日) 朝は雨、山頂途中まで曇り、昼前から晴れ
2. 山行地 明神ヶ岳(1169m) 歩程7.8km 累積標高差 +840m -450m
3. コース 最乗寺～見晴小屋～神明水～明神水～尾根分岐～明神ヶ岳(山頂)～
～宮城野分岐～明神平別荘地・山松荘前三叉路
4. 所要時間 約7時間(最乗寺8時30分スタート～バス待機場所15時30分)
5. 交通手段 マイクロバス(小山中央観光バス)
6. 会計報告
収入の合計 170,300円

(参加者21名×7300円+キャンセル料14000円+バスリーダー手当3000円)

支出の合計 171,235円

①下見代	22,960円
②バス代	121,945円
③バスの駐車料金(5時間)	4,000円
④高速道路代往復(中型)	9,360円(久喜→大井松田、箱根口→久喜)
⑤バス運転手の休憩代	7,500円(入浴代・昼食代含む)
⑥班長・副班長手当	2,500円(班長・副班長 各500円)
⑦バスリーダー手当	3,000円(CL・SL 各1000円)

収支の過不足 ▲965円

7. 参加人数 21名(キャンセル者2名除く)

CL:O、SL:Y、N 班長:H、M 副班長:S、H、K
A、O、K、K、K、K、S、S、T、T、N、M

8. 山行CLの総括

広報部は、会員・部員の高齢化対策(安全対策)の一環として、2023年度の主催山行は、マイカー山行から貸し切りバス山行や公共交通機関利用の山行に積極的に取り組んでいる。(貸し切りバス山行は、5月13日竜ヶ岳、10月14日磐梯山、10月29日明神ヶ岳3回の実施、公共交通機関利用の山行は、3月10日奥多摩・日の出山縦走の予定)今回の明神ヶ岳は貸し切りバス利用の利点(登山口と下山口を別々の場所に出来る)を生かし南足柄市・最乗寺から登り箱根町・宮城野地区明神平に下るロングラン縦走ルートを計画・実施した。縦走ゆえに山頂往復ルート(ピストン)ではありえない対策を講じる必要があった。それは落伍者が発生した場合、下山時に落伍者を回収する訳にはいかないため、パーティからSLを外してSLのアテンドでもって落伍者を別途、バス待機場所へ移送する段取りを講じておくことだった。SLのYさんやNさんには計画段階から余計な気苦労を掛けてしまったと深く反省をしている。(幸いにも落伍者は出ず、全員が皆無事に下山口の明神平までたどり着くことが出来て対策は幻に終わり非常によかった。)

また、貸し切りバスは、実施日の2週間前からキャンセル料(契約金の20%以上)が発生するため、雨などで山行を止む無く中止にした場合でもキャンセル料を払わないように雨プランを別に策定しておく必要が有るなどマイカー山行とは比べてCL・SLの負荷はかなり大きくバス山行の回数・頻度を増やすことは容易でないことを改めて実感した。

それから、バス山行ゆえに一定以上の参加人数を集め一人あたり参加費を出来る限り低く抑えたい、その方策として休日(日曜日)に山行を実施したが、帰路の観光地(箱根)や高速道路(小田原厚木道路、東名高速道)で渋滞に巻き込まれてしまい、野木の帰着時間が大幅に遅れ、その分バス料金もアップしてしまった。その結果、一人あたり参加費を追加徴収する羽目になってしまいCLとして忸怩たる思いだった。今後はこれらの課題や反省点を教訓に、これからの山行計画に役立てて行きたいと考えている。

9. 感想文

野木役場5時出発、怪しい雲行きに長いブランクがあったため、気持ちも下り坂、8時30分最乗寺の立派な建物の庭を借りストレッチ、4班に分かれさあ～出発、明神岳は標高1169m箱根山の古期外輪山の1峰です。10時見晴小屋で小休止、少し上ったここからの眺めは遙か遠く見える島々を見て、綺麗ね、最高の天気で良かったね。10時45分頂上はもうすぐ、朝が早かったので昼食をとることになった。それぞれの自分の弁当を笑顔でほおぼる、美味しいね、お腹いっぱい、12時30分明神岳頂上、雪をまとった富士山を雲のマフラーが差しかけているように見える。その横を見ると金時山、となりは大涌谷、裾野はちらほらとあかいろの木々、はるか向こうは駿河湾、富士山をバックにはいポーズみんな良い顔しているね。13時30分宮城野分岐からは、リンドウやトリカブト秋のキリンソウ、この時期は咲いてるとは思われないうめばち草ほこりたけくだりの登山道は花で賑わっていた。15時無事下山出来ホット一息。帰路には、手みやげにかまぼこ買いバスに揺られ役場に20時30分到着。CL、SLさん又班長さんお世話様でした。Sさん、Mさん 写真ありがとうございました。 S,M 記



明神ヶ岳(山頂)の記念写真